

ありえない!!

「新型コロナ」質問禁止

1日議会を5日間に見直したものの 実質審議無し

新型コロナから

命とくらし

経営を守る政治へ

力あわせて

6月議会は、「新型コロナ」問題を最大のテーマに市民の苦難に寄り添う対策の実現へ市民から期待が寄せられています。

「1日議会?何考えてる」との批判が上がる中、5月18日の議会運営委員会(岩澤信委員長)は、先に決定した会期1日を5日間に変更。一般質問は「議会災害対策会議(議長齋藤久代座長)で議論している(非公式)」とし「コロナ

問題」の質問禁止、時間半減を自公維新の多数で決定しました。

全議案・請願の委員会付託も省略し、「コロナ禍」の中で実質審議抜きの異常な議会となっています。市民から「議会は、今こそ政治の役割果たせ」とネット署名や、要請・請願などの声が上がっています。

国民世論が閣議決定を覆し実現した一人10万円給付が始まりました。空前の規模で広がったツイッターなど新しい運動を力に安倍首相自信の桜・森加計疑惑など検察の捜査逃れの為と言われる検察庁法案も今国

会成立をストップさせました。「コロナ対策」で結束を強める野党は、検査と医療・暮らしと経営を守る感染防止対策に第2次補正予算で大規模な財政出動を政府に迫り与野党協議を進めています。

従来の議会開催日数比較

(昨年の議会日程) 実質10日間				
日次	期	日	曜日	会議
1	6/3	月	本会議	開会、議案上程・提案理由説明、一部議案質疑・討論・採決 請願上程・説明・質疑・付託 一般質問
2	6/4	火	本会議	一般質問
3	6/5	水	本会議	一般質問
4	6/6	木	本会議	一般質問
5	6/7	金	本会議	議案質疑・付託
6	6/8	⊕	休	会
7	6/9	⊕	休	会
8	6/10	月	委員会	総務文教常任委員会
9	6/11	火	委員会	福祉厚生常任委員会
10	6/12	水	委員会	建設経済常任委員会
11	6/13	木	委員会	議会運営委員会
12	6/14	金	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

(一般質問
(1人60分))

(今回の議会日程) 実質4日間				
日次	期	日	曜日	会議
	6/2	火		
	6/3	水		
	6/4	木		
	6/5	金		
1	6/8	月	本会議	午前10時
2	6/9	火	本会議	午前10時
3	6/10	水	本会議	午前10時
4	6/11	木	休	会
5	6/12	金	本会議	午前10時

議事録なし
議会開会前
全て非公式で行う

議案等
質疑1人3分
議案説明省略
1人30分

議題なし
執行部
出席なし

検察庁法改定案 成立断念

黒川前検事長は「懲戒免職」。法案は撤回せよ！

黒川東京高検検事長が、かけマージャンにより辞任（5/22）しました。違法・違憲の閣議決定で、黒川氏の定年延長を図った安倍政権の責任が問われます。政府・与党は検察私物化の検察庁法案を今国会廃案の方向を示しました。

ところが、安倍首相は「閣議決定は適法で撤回しない」とする意思を示しています。「まともな政治を行え」の声を更に大きく広げ、安倍政権の狙う「司法の私物化を許すな」の国民の声で法案撤回に追い込みましょう。

検察庁法改定案に反対して抗議する人たち＝19日、衆院第2議員会館前



臨時休校中における
取手市立学校
現在 分散登校実施中

6月8日(月)から通常登校へ

内閣支持率27%に急落

黒川氏「懲戒免職にすべきだ」52%

毎日新聞と社会調査研究センターが23日実施した、全国世論調査の結果、安倍内閣の支持率は27%で、今月6日に行った前回調査の40%から急落した。不支持率は64%に跳ね上がった（前回45%）。

【毎日新聞世論調査】

分散登校の方法

- ・1教室あたりの児童生徒数14人以下とし、分散登校を実施
- ・各学校の児童生徒数に応じ1～3つ（A班・B班・C班）のグループを編成し分散登校



感染防止対策

- ・登校し教室に入る前に、子どもが持参した体温などを記録したカードをもとに健康観察を行う。
- ・教室は窓を対角線に明けて常に喚起を行う。
- ・児童・生徒及び教員はマスクを着用。
- ・児童・生徒が使用した机や椅子、ドアや階段の手すりなどの消毒を毎日行う。
- ・その他学校医の指示により必要な感染対策を講じる。

明るい取手

2020年5月 号外
発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党の見解を紹介します。

302-0011茨城県取手市井野3-19-5

☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817

<https://toride-jcp.com>



ようやく動く取手市・コロナ対策

全国の市町村では国の交付金を待たずに次々施策を進める中、ようやく取手市も動きだしました。市は22日新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金1兆円のうち1次交付金7000億円から取手市に交付される3億4000万円や市の一般財源7000万円を活用した方針を議員に報告しました。

すでに議会災害対策会議に報告された主な事業を紹介します。取手市にとっては、5月7日臨時議会議決の補正予算でのコロナ対策唯一独自予算の、一部事業者へのテイクアウト補助388万円に続くものになります。

生活支援

子育て世帯へ、市独自で所得制限なしの給付。国の支給とは別に、児童手当の支給対象児童一人当たり

10,000円、児童扶養手当の対象世帯に1世帯あたり20,000円給付。

経済支援

商工事業者へ、国の持続化給付金（中小企業200万円上限、個人100万円上限）対象外の、売上が前年同月比で30%～50%減少し

ている事業者に給付金。テイクアウト販売を行う飲食事業者に、一食当たり300円を補助。

感染拡大防止

次亜塩素酸水生成機を購入し、消毒液（除菌電解水等）を市民の皆様に無料配布。小中学校の保健室や放課後子どもクラブに空気清浄機を設置。災害時の避難所の衛生環境を確保へ、パーテーション等を購入。これらの事業は、基本的には6月議会の補正予算に計上し審議予定。特に早期実施が必要な消毒液の無料配布や小中学校の再開に要する経費等は、専決処分にて対応も視野に検討。

拡大防止のためのPCR検査の抜本的強化を

県内におけるPCR検査の実施件数(5月22日)
茨城県人口287万人

県内におけるPCR検査の実施件数



【茨城県ホームページより】

支援の拡大、すみやかに市民に届けよ
議会はスピード感をもって十分な議論を

日本共産党 臨時議会開催要求